

佳禾外语
JIAHEWAIYU

1 级 读解

35天突破日语能力测试1级读解难关!

(全方位读解策略逐天指导)

- ✿ 归纳整合历年能力测试1级读解常考题型，并有效分解到前30天中
- ✿ 后5天科学设置5套日语能力测试读解模拟题
- ✿ 读解策略指导、读解练习、单词短句及语法解释、读解问题解析层层深入
- ✿ 一步到位掌握读解技巧，单词、语法、读解一箭三雕

35
天
特
训
班

日语能力测试



主 编 ☆ 柴红梅
副主编 ☆ 李素萍 杨安娜 王昱



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

1 级 读解

WU
天
特训班

日本语能力测试



主 编 柴红梅
副 主 编 李素萍 杨安娜 王昱



外文出版社
FOREIGN LANGUAGES PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日语能力测试 1 级读解 35 天特训班 / 柴红梅主编.

北京: 外文出版社, 2009

ISBN 978-7-119-05626-5

I. 日… II. 柴… III. 日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料 IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2009) 第 006888 号

责任编辑: 刘承忠 范淑娟

装帧设计: 王付青

印刷监制: 张国祥

日语能力测试 1 级读解 35 天特训班

主 编: 柴红梅

©2009 外文出版社

出版发行: 外文出版社

地址: 北京西城区百万庄大街 24 号 邮政编码 100037

网址: <http://www.flp.com.cn>

电话: (010) 68320579 / 68996067 (总编室)

(010) 68995844 / 68995852 (发行部)

(010) 68327750 / 68996164 (版权部)

印 制: 肥城新华印刷有限公司

经 销: 新华书店 / 外文书店

开 本: 787×1092mm 1/16

印 张: 14

字 数: 190 千字

装 别: 平

版 次: 2009 年第 1 版 1 次印刷

书 号: ISBN 978-7-119-05626-5

定 价: 23.00 元

建议上架: 外语

版权所有 侵权必究 有印装问题可随时调换

前言

近年来,日本语能力测试在全球范围内的影响不断扩大,现已成为国际性、权威性的日语考试项目之一。随着我国改革开放以及对外交流的深入,我国的应试者也在逐年增加。

如何在短时间内提高阅读理解能力,这几乎是所有日语学习者都感到头疼的问题。如今,关于日本语能力测试阅读理解的辅导书铺天盖地,但其难度真正适用于日本语能力测试的并不多,而能够使应试者在没有老师指导的情况下,通过自学迅速提高阅读能力的辅导书更是难得一见。如何将解题思路浅显易懂地传达给学习者,使其在短时间内掌握日语能力测试读解技巧,这对我们编写者来说具有很大的挑战性。

《日本语能力测试·1级读解35天特训班》即是顺应广大日语学习者和应试者的热切要求出版的系列丛书之一。本书的特点是:

1. 全方位读解策略逐天指导。本书针对日语能力测试中经常出现的考试题型特点,以浅显易懂的语言,逐天提供全方位的读解策略和技巧。它具体、全面、详尽,使学习者能一步到位地迅速掌握读解技巧,并将其很好地应用于考试中。这种全方位的读解策略指导在国内同类书中尚属首例。

2. 内容全面、资料新颖、难易适中、特点突出。本书选用了日本语能力测试读解考试中经常出现的各种文体类型,如散文、说明文、议论文、信件、图表等,并将其合理地分配到了前30日中,后5日为5套日本语能力测试读解模拟题。

每篇读解的内容涉及当天读解策略指导、读解练习、单词解释、短句解释、语法解释以及读解问题解析。“单词解释”“短句解释”“语法解释”列出了文章中出现的过级必备的单词、词组、短句、语法,并均以日汉两种语言加以详解,同时附例句及译文;“读解问题解析”给出解题思路和方法,以期待学习者能够触类旁通。

3. 词量扩大、语法巩固、读解进步、一箭三雕。为了切实提高广大日语学习者的阅读理解水平,本书在编排上力求由简入手,难度递增。此外,单词、语法与阅读理解三者有机结合;相辅相成,使广大学习者在学习单词和语法的基础上切实有效地提高阅读能力,同时又巩固了单词和语法知识,可谓一箭三雕。

4. 排版灵活、形式新颖、布局合理、轻松活泼。本书力求做到“内容美”与“形式美”的统一。版式上新颖大方、轻松活泼,尽可能使学习者在轻松愉悦的氛围中学到知识。

本书是编者在总结多年教学经验的基础上,紧跟时代要求,广泛搜集国内外最新资料编写而成的。除了日本語能力测试应试者外,本书还可供广大院校师生、出国留学及务工人员及其他相关人士参考和使用。希望广大学习者充分利用本书的特色学习好日语,并在考试中取得优异的成绩!

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

本书在编写过程中得到了王红、王世华、代勇、李娜等的大力支持,在此表示诚挚的谢意。

目录

第 1 日	1
第 2 日	8
第 3 日	15
第 4 日	22
第 5 日	31
第 6 日	37
第 7 日	43
第 8 日	50
第 9 日	57
第 10 日	65
第 11 日	72
第 12 日	79
第 13 日	85
第 14 日	92
第 15 日	100
第 16 日	106
第 17 日	112
第 18 日	119
第 19 日	125
第 20 日	128
第 21 日	133
第 22 日	139
第 23 日	145

第 24 日	150
第 25 日	156
第 26 日	163
第 27 日	171
第 28 日	179
第 29 日	186
第 30 日	192
第 31 日	198
第 32 日	202
第 33 日	206
第 34 日	210
第 35 日	213
答案	216

第 1 日 読解ストラテジー 1——下準備(1)

1

読解策略 1——阅读前的准备(1)

在日本语能力测试中，“读解”部分题量最大，所占时间最长。一般有三道大题。第一道题是长篇文章，大部分是论说式，约 1000 字，文章比较枯涩难解；第二道题是中篇文章，一般是随笔或散文，比较容易理解；第三道题是短篇文章，基本上是五六篇小文章，每篇约 300～350 字。长篇文章每题约设 7 个问题，中篇文章每题设 3～5 个问题，短篇文章每题设 1～2 个问题。在了解这些情况的基础上，我们来学第一个技巧：拿到试卷后，以最快的速度通览，将时间合理地分配给每道题，从而有效地利用时间，从容解题。

ウラかオモテか

■問題 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。答えは 1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

数年前のことだが、ある官庁から封書が届いた。あけてみると、ワープロで打った文書がすぐ目に飛び込んできた。つまり、文面を外にして折ってあったのである。ぎょつとした。差出人は若い事務官らしい。おそらくものを知らないから、こんなことをしたのだらうと勝手に解釈した。

それにしてもひどいものだとびっくりしたから、いつまでも頭に残っていた。そして気をつけるともなく気をつけていると、①同じようなことをしている文書が時々ある。世の中はそこまで落ちぶれてきたのかと②情けない思いをして、ものを知らない代表のように言われる学生はどうであろう、と思ってアンケートをとることを考えた。

五十人に聞いた。全員が文面を内側にして出す、と答えた。外にしたりすることがあるのか、と反問したものもある。まずは常識的である、とひそかに安心した。やはりお役所がおかしいのだと、こんどはいっそう自信を持って勝手に判断した。そのことを文章に書いたものをいれて本を出版したところ知人から注意を受けた。

③それは無知のせいではない。非常識と決めつけられては困る。このごろは文面を外にする折り方は少しも珍しくない。自分も仕事上の通信ではそのようにしている。書いてあることが内側になっていると、ひらいて見るのに手間がかかる。外を向いていれば、一目で用件がわかって便利である。能率的である。もっとも私信は別で、これは必ず書いたほうを内側にして便箋を折る…。

そう言われて、ひどくおどろいた。いつのまにか世の中で新しい自分のまったく知

らない方式が行われていたのである。こちらが無知なのに、相手がいけないと思ったりして恥ずかしかった。この知人は大企業の最高幹部として活躍しているだけでなく、文筆でも一家をなして、日ごろから敬服している人だけに、④その言葉は決定的だった。私はさっそく自分の考えを訂正することにした。

そこへやはり知り合いの年配の婦人からやはりその本をよんだといっってはがきももらった。その人が先年、ある機関の事務の仕事をするようになったとき、まず、最初に教えられた訓練は郵便物を出すとき、文面を外側して折るように、ということだった、と書いてある。

そう言われて注意してみると、あるわあるわ、文面を外にした郵便物が毎日いくつも届くのである。ダイレクトメールのたぐいが多いこともあって、これまで気がつかなかった。そんなものは手紙と認めないから、ろくに見もしないで、時には封も切らずに捨てていた。そうゆう郵便物の多くは印刷してある。あるいはワープロで打ってある。事務用、業務用、宣伝用の通信で、手書きの私信で外側にしたのは、いまのところひとつもない。しかし、それだけ外折りが増えてくると、⑤私信といえども安心できなくなるかもしれない。

折り曲げるから、文面を内にするか外にするかが問題になる。折り曲げてあるから広げる面倒も起こる。一枚をそのままにして封に入ればそういうことが一挙に解決してしまう。そう考えるとところが多くなったとしても不思議ではない。折らないものをそのまま送ってくる。それで郵便物がどんどん大型化してきた。

—中略—

それはともかく、当面は、私信は文面を内側にし、事務通信、ダイレクトメールは外側にするという二通りの様式が共存することになる。そのことをまだ一般に知らない人が多いということを官庁や企業などの人は⑥頭に入れておいたほうがよいかもしれない。われわれはなにごとによらず、むき出しをきらう。金や物を人に渡すときにもかならず包む。封書からむき出しの文面が飛び出してくるのはあまりいい感じのものではない。

(外山滋比古『ことがと人間関係』チクマ出版社)

問 題

問 1 ①「同じようなことをしている文書」とあるが、どんな文書か。

- 1 ワープロで打った文書。
- 2 文面を外側にして折った文書。
- 3 勝手な解釈を載せた文書。
- 4 ものを知らずに書いた文書。

問 2 ②「情けない思い」とあるが、筆者はなぜ情けないと思ったのか。

- 1 ワープロで打った文書はいつも文面を外にして折られていて、ぎょっとすることが多いから。
- 2 若い事務官は、文書の折り方に気をつけたり付けなかったりで、びっくりさせられ

ることが多いから。

- 3 文面を外側にして折った非常識だと思われる文書をときどき見るので、ものを知らない人間が増えてきたと感じたから。
- 4 世の中が落ちぶれてきて、ものを知らない学生や若い事務官が多くなったから。

問 3 ③「それは無知のせいではない」とあるが、「それ」は何を指すか。

- 1 学生がものを知らないこと。
- 2 文面を内側にして折ること。
- 3 学生が反問したこと。
- 4 文面を外側にして折ること。

問 4 ④「その言葉は決定的だった」とあるが、何を決定的にしたのか。

- 1 知人を敬服すること。
- 2 自分の考えを訂正すること。
- 3 文面を外側にして折ること。
- 4 相手が間違っていること。

問 5 ⑤「私信といえども安心できなくなるかもしれない」とあるが、どういう意味か。

- 1 私信は安心して送れなくなるかもしれない。
- 2 私信も印刷するようになるかもしれない。
- 3 私信も外折になるかもしれない。
- 4 私信は折らずに送るようになるかもしれない。

問 6 ⑥「頭に入れておいたほうがよいかもしれない」とあるが、何を頭に入れておくのか。

- 1 私信は文面を内に、事務通信、宣伝用は外にするという二通りの様式が共存すること。
- 2 私信は文面を内に、事務通信、宣伝用は外にするという二通りの様式が将来もずっと共存するだろうということ。
- 3 私信は文面を内に、事務通信、宣伝用は外にするという二通りの様式が共存することを、知らない人が多いこと。
- 4 私信は文面をうちに、事務通信、宣伝用は外にするという二通りの様式が共存することを、知らない人はいないこと。

問 7 文書の外折りを筆者はどのように思っているか。

- 1 世の中の新しい方式ではあるが、むき出しの文面は感じのいいものではないので、やめるべきだ。
- 2 あまり感じのいいものではないし、われわれの習慣にもそぐわないので非常識である。
- 3 文面を外にした郵便物は手紙と認められていないから、事務用、業務用、宣伝用だけにしたいほうがいい。
- 4 非常識であるとはいわないが、われわれの習慣にそぐわないし、あまり感じのいい

ものではない。

読解のポイント

●言葉の解釈

1. もの。＝具体的なものではなく、物事全体。/不是指具体的东西，是指事物整体。

★ものをしらない。/不懂事理。

★実に良くものが分かった人だ。/他真是个明白事理的人。

★^{あんがい}案外ものの分からない人だ。/没想到他是个不明事理的人。

2. 反問。^{はんもん}＝質問に対して逆に聞き返すこと。/对所提问题反过来进行提问。

★反問したものもいる。/也有提出反问的人。

★彼に反問した。/反过来问了他一句。

★そういう君はどうなんだと反問する。/反问道：那样的你会怎样？

3. 私信。^{ししん}＝個人的な用事で書く手紙、個人の手紙。/私人信件。

★私信は別で。/私人信件另当别论。

★他人の私信を勝手に読んではいならない。/不能随便看别人的信。

★他人の私信を公開^{こうかい}するとは卑劣^{ひれつ}きわまる。/公开别人私人信件，卑鄙至极。

4. ひどく。＝非常に。/过分，无情，激烈。

★ひどくおどろいた。/大吃一惊。

★ひどく叱る。/狠狠地训斥。

★ひどく侮辱^{ぶじよく}された。/受到奇耻大辱。

5. むき出し。＝覆うものがなく全部見えていること。/没有覆盖物，全部暴露在外。

★何事によらず、むき出しを嫌う。/无论讨厌什么事都毫不掩饰。

★彼女は怒りをむき出しにした。/她毫不掩饰自己的愤怒。

★むき出しの田舎言葉でしゃべる。/讲一口十足的土话。

6. ダイレクト。＝direct。/商业信函，商业广告。

★最近、ダイレクトメールが多くなって困るね。/最近商品广告增多，真烦人。

★メールによく楽^{らく}天^{てん}のダイレクトメールが入っていることはない？/你的邮件里没有乐天的商业广告吗？

★今日は資生堂^{しせいどう}のダイレクトメールが届いたけど、見る？/今天收到资生堂的商品印刷品，你看吗？

●短文の解釈

1. ぎょっとした。＝びっくりした、おどろいた。/大吃一惊，吓得心怦怦直跳。

★そのニュースを聞いてぎょっとした。/听到那个消息，大吃一惊。

★いきなり背中をたたかれてぎょっとする。/冷不防被人拍了一下肩膀，吓了一跳。

★ぎょっとして立ち止まる。/吓了一跳，站着不动了。

2. 落ちぶれてきた。＝身分や生活ぶりが悪くなりみじめになってきた。/自身或生活衰败、落魄、潦倒。

★世の中はそこまで落ちぶれてきたのか。/社会已经衰败到这种地步了吗？

★家が落ちぶれた。/家道败落。

★落ちぶれて他郷^{たきょう}にさまよう。/穷困潦倒，流落他乡。

3. 一家^{いっか}をなしていて。＝一流であって。/自成一家、一派。

★文筆^{ぶんびつ}でも一家^{いっか}をなしていて。/文笔也是自成一派。

★彼は文法学者としてすでに一家をなしている。/他作为语法研究者已自成一家。

4. あるわあるわ。＝たくさんある。/有哇，有哇！（“有好多”的强调说法。）

●文法、文型の解釈

1. ろくに～ない。＝十分に～ない。/也没好好……

★ろくにみもしないで。/也没好好看。

★ろくに日本語も話せない。/连日语都讲不好。

★ろくに見もしないで買ってしまった。/也没仔细地看一看就买了。

2. 一挙^{いっきよ}に。＝いちどに。/一举，一下子。

★一挙に解決してしまう。/一下子就解决了。

★一挙に劣勢^{れっせい}を挽回^{ばんかい}した。/一下子挽回劣势。

★敵を一挙に粉碎^{ふんさい}する。/一举粉碎敌人。

3. ～によらず。＝～に限らず。/不论……，不按……

★誰によらず。/不论是谁。

★時と場所によらず。/不论何时何地。

★この会社では、性別や年齢によらず、能力のあるなしによって評価される。/在这个公司不按性别与年龄，而是按能力来评价员工。

問題を解くための解説

問 1 ①「同じようなことをしている文書」とあるが、どんな文書か。

本题是问“相同的事”是指什么。这在文章的第一段已经明确指出，特别需要注意的是“つまり”，它后面是陈述作者主要想说的话或意见等，即“把有文字的一面朝外折”这件事。

∴ 正确答案 2 文面を外側にして折った文書。/把有文字的一面朝外折的公文。

問 2 ②「情けない思い」とあるが、筆者はなぜ情けないと思ったのか。

问题是问作者为什么会感到悲哀。作者在文章中提到这个社会已经衰败了，因此感到悲哀。那么为什么作者会认为这个社会已经衰败了呢？因为作者经常会接到他自认为一些不懂礼节的人发来的信，是将有文字的一面朝外折。

∴ 正确答案3 文面を外側にして折った非常識だと思われる文書をときどき見るので、ものを知らない人間が増えてきたと感じたから。/因为经常能看到自己认为是不合乎常理的把有文字的一面朝外折的公文,感到不懂常识的人在增多。

問3 ③「それは無知のせいではない」とあるが、「それ」は何を指すか。

在读解考试中会经常出现有关指示代词所指内容的问题,对指示代词的理解和掌握是考查阅读理解能力的一个重要方面。诸如此类的问题是必考的,也是大家感到最难的。

有时即便仔细阅读文章也不明白作者的所指。出现频率最高的指示代词莫过于“ソ”类指示代词了,在文章中,这些指示代词与其所指代内容间有两种表现方式:一是指代其前面不远处句子中的某一词语或整个句子;二是由于指示代词与其所指代内容间有其他句子插入,所指内容相对离得较远,这种情况在考试中出现较多。因此,应该对“ソ”类指示代词前后的文章内容进行仔细阅读,同时对比各个选项与这些内容的关系,最后选择一个认为最确切的选项。那么,在这个问题中,“それ”是指它上一段文章中陈述的事情,即“把这件事写入文章”中。但是,在比较各选项时,我们会发现,与上一段内容接近的还是“把有文字的一面朝外折”。

∴ 正确答案4 文面に外側にして折ること。/把有文字的一面朝外折。

問4 ④「その言葉は決定的だった」とあるが、何を決定的にしたのか。

文章中提到作者的这位友人不仅担当大企业的最高领导,而且文笔也自成一家,是作者平素敬佩的人,因而他的话是具有决定意义的。因此作者马上就纠正了自己的想法。

∴ 正确答案2 自分の考えを訂正すること。/纠正了自己的想法。

問5 ⑤「私信といえども安心できなくなるかもしれない」とあるが、どういう意味か。

问题的前一句说“现在还没有发现一例私人信件朝外折的。”随后即用“しかし”来否认并继续这句话。这说明作者还是担心有一天私人信件也会朝外折。

∴ 正确答案3 私信も外折になるかもしれない。/也许私人信件也会朝外折。

問6 ⑥「頭に入れておいたほうがよいかもしれない」とあるが、何を頭に入れておくのか。

回答这个问题时应注意参照上文的内容:“…私信は文面を内側にし、事務通信、ダイレクトメールは外側にするという二通りの様式が共存することになる。そのことをまだ一般に知らない人が多いということを官庁や企業などの人は頭に入れておいたほうがよいかもしれない。/现在是私人信件有文字的一面朝内折,而事务通信和宣传信函要朝外折的两种样式并存。而一般人都不知道这件事,政府和企业里的人应该记住这一点比较好吧。”

∴ 正确答案3 私信は文面を内に、事務通信、宣伝用は外にするという二通りの様式が共存することを、知らない人が多いこと。/很多人不知道有私人信件有文字的一面朝内折、而事务通信和宣传信函要朝外折的两种样式。

問7 文書の外折りを筆者はどのように思っているか。

作者的想法一般情况下会在文章的最后一段文字中找到。本文作者在文中虽然更正了自己的想法,但是最后还是说:“我们讨厌没有任何掩饰而一切暴露在外。”从这里可以判断出作者对现在人们习以为常的负面事情持“不是太好”的感觉。

∴ 正确答案 4 非常識であるとはいわないが、われわれの習慣にそぐわないし、あまり感じのいいものではない。/虽不能说是不合常理的,但既然违背我们的习惯,也不会令人感觉很好。

●日本のことわざ

- ★ 青は藍より出でて、藍より青し。(教えられたものが教えたものよりも優れていること。)/青出于蓝而胜于蓝。
- ★ 逢うは別れの始め。(人生の無常ではかないこと。)/有聚有散;没有不散的宴席;人生聚散无常;相逢为离别之始。
- ★ 青菜に塩。(元気がなくて、しおれている様子。)/垂头丧气;无精打采。
- ★ 悪事千里を走る。(悪いことはすぐ世間に伝わりやすい。)/好事不出门,坏事传千里。
- ★ 朝起き(早起き)は三文の徳。(早起きすれば、いくらかでも利益になる。)/早睡早起身体好。
- ★ 足を洗う。(いやしい仕事や悪い仕事をやめて正しい職に就く。)/金盆洗手;改邪归正。
- ★ 頭隠して尻隠さず。(欠点や悪事の一部分を隠して、全部を隠したつもりになっている。)/藏头露尾;欲盖弥彰。
- ★ 後の祭り。(時期が遅くなって、役に立たないこと。)/错过时机;雨后送伞。
- ★ あばたもえくぼ。(愛する相手に対しては、その欠点までもよく見えるようになってしまう。)/情人眼里出西施。
- ★ 雨降って地固まる。(一度ごたごたのあったあとは、かえって物事がよく落ち着く。)/不打不成交。

第2日 読解ストラテジー2——下準備(2)

2

読解策略2——阅读前的准备(2)

在日本语能力测试中,“读解”是最容易丢分的部分,对于考生来说,也是最不知如何复习的部分。因此,很多考生只是盲目地大量练习“读解”的文章,以为这样就可以提高考试成绩,但是,成效往往不大。因为阅读不仅要求考生具有很高的语言综合能力,还要能够很好地理解日本人的语言思维方式。另外,“读解”的试题通常选自报刊中的专栏,杂志、普及读物等的随笔,或自然科学读物以及有关日本人和日本文化方面的书籍等,因此,在日常的学习中,要习惯此类文章的文体、构成及表达方式。除此之外,掌握一定的考试技巧也是至关重要的。那么,我们来学第二个技巧:在通览全文之前,首先要理解文章的题目,因为题目往往是作者要表达的中心思想。

きまり文句

■問題 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。答えは1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

日本に来てしばらくすると、僕のところにも年賀状が来るようになった。その返信として、何を書けばいいのかと迷っていた。友達に聞いてみると「昨年中は大変お世話になりました。今年もよろしく願いいたします」と書くのが一番無難であると教えられた。お陰で僕は、その後の三、四年間、年賀状にはその文句以外、何も書くことはなかった。すべての年賀状に「昨年中は大変お世話になりました。今年もよろしく願いいたします」とだけ書き、個人的な数人の友人にだけ、せいぜい「HAPPY NEW YEAR」と書き足す程度だった。まさに①馬鹿のひとつ憶えのように、それだけの年賀状を出し続けていたのだ。その後②目から鱗が落ちるような思いをしたのが、エプソンというコンピュータ関連機器メーカーのテレビコマーシャルの仕事だった。

当時エプソンでは同社のプリンターを使った年賀状コンテストを行っており、僕はその審査に参加することになった。集まった年賀状にはコンピュータを駆使したような、さまざまなデザインがあった。その中に、一際僕の目を引く年賀状があった。土佐の美しい紺碧の海を背景に、父親らしい人物の元気な笑顔の写真が写っている。その父親の写真には吹き出しで、「みんな元気かい？ おれ元気よ」と書いてある。年賀状に書いてあるのはそれだけなのだが、とても素晴らしいと思った。なんて型破りなんだろう！ とても素直に自分の元気を伝え、みなさんの安否を気遣っている。それがとてもいい感じに思えたのだ。

この年賀状を見たことがきっかけとなり、僕も自由に年賀状を書くようになった。しかも同じ日に、さらにもうひとつ、③マニュアルに翻弄されていた自分を発見する出来事があった。

外出先から自分の家に電話をして、留守番電話のメッセージを確認しようとした。当然のことだが、留守番電話になっているので電話口には「只今出かけております。ご伝言のある方はピッという発信音のあとにメッセージをお願いいたします」という自分の声で録音した案内が流れてくる。これは電話を買ったときに、留守番電話の応答案内には何を録音すればよいのかを友人に聞き、教えられた科白をそのまま吹き込んだだけの案内だった。以来、無関心にもずっとそのままにしていたのだが、これがとても恥ずかしく思えたのだ。

僕は帰宅するなり、すぐさま録音をやり直した。今度はやさしい声で「あなたからのお電話を心待ちにしておりました。」といった具合だ。するとどうだろう、無言電話も減ったではないか！

留守電の案内音声ながら、優しい声で話しかけられれば、相手も無言で電話を切るのは悪いと思うのだろう。僕自身も、相手の留守番電話が機械音の案内音声だったりすると、メッセージを残す気にもならない。もしかしたら、間違った場所へ電話を掛けてしまったのかと思ってしまうことさえある。④携帯電話の留守番電話も同じだ。たがいは機械音の案内音声流れるが、自分の声で案内を録音している人もたまにいる。僕の場合、「ちょっと声が聞きたかった」という程度の理由では、機械音の案内にメッセージを残すことはない。特に携帯電話の場合には、メッセージを残さなくても着信履歴で誰から電話がかかってきたのかが判別できるからだ。

言葉というのは、あくまでも人間と人間の個人的な触れ合いのためのものだと思う。言葉は道具だが、言葉を通してお互いの関係をもっとよくしようとし、言葉を使ってお互いに気を使いあう。

以前の僕の年賀状のように、すべての人に同じ文面の年賀状を出していたら、それは結局、義務で送っているようなものになってしまうだろう。⑤そのような年賀状では、個人的な人間関係を築くことはまず無理だ。年賀状の文面ひとつを取ってみても、マニュアルにある定型文を使うだけでなく、(⑥)。

(ピーターフランク『美しくて面白い日本語』宝島社)

問 題

問 1 ①「馬鹿のひとつ憶えのように」と言っているのはなぜか。

- 1 個人的な数人の友人にだけ年賀状を出していたから。
- 2 無難であると教えられた同じ文句だけを毎年書いていたから。
- 3 馬鹿のような文句だけを毎年書いていたから。
- 4 昨年お世話になったことだけを毎年書いていたから。

問 2 ②「目から鱗が落ちるような思いをした」のはなぜか。

- 1 コンピュータ関連機器メーカーのコマーシャルに出演したから。

- 2 土佐の美しい紺碧の海の写真を見たから。
- 3 素直な気持ちを伝えた型にはまっていない年賀状を見たから。
- 4 父親に宛てた写真入の年賀状を見たから。

問3 ③「マニュアルに翻弄されていた」とあるが、この場合どういう意味か。

- 1 外出先から留守番電話の伝言を確認していたという意味。
- 2 留守番電話の応答案内を優しい声で録音し直していたという意味。
- 3 留守番電話の応答案内を友人に教えられた科白で流していたという意味。
- 4 誰から電話があったかを着信履歴で調べていたという意味。

問4 ④「携帯電話の留守番電話も同じだ」とあるが、何が同じなのか。

- 1 留守番電話の応答案内が優しい声でも無言で電話を切ること。
- 2 「声が聞きたかった」という伝言を残すこと。
- 3 着信履歴で誰から掛かってきたか分かるので伝言を残さないこと。
- 4 留守番電話の応答案内が機械音の音声だと伝言を残す気にならないこと。

問5 ⑤「そのような年賀状」とあるが、どんな年賀状か。

- 1 コンピュータを使って書いた年賀状。
- 2 決まり文句だけを書いた年賀状。
- 3 写真を入れた年賀状。
- 4 自由に書いた年賀状。

問6 (⑥)に入るものとして最も適当なものはどれか。

- 1 すべての人に同じ文面の年賀状を出すことも大切だろう。
- 2 皆の安否を気遣う文面を入れることも必要である。
- 3 臨機応変に自分の気持ちを伝えればいいのである。
- 4 コンピュータを駆使して書いてみてはどうか。

問7 筆者は言葉についてどのように考えているか。

- 1 言葉は個人的な人間関係を築くための道具であるから、言葉を使ってお互いに気を遣い合うことが大事である。
- 2 言葉は社会的人間関係を築く道具であるから、マニュアル的な挨拶や文章を使いこなせることが大事である。
- 3 言葉は個人的な触れ合いのためのものだから、年賀状や電話では丁寧な言葉を使わなければならない。
- 4 言葉は人間と人間の個人的な触れ合いを築くものであるから、無難な言い方や文章でお互いに気を遣いあうことが大事である。

読解のポイント

●言葉の解釈

1. 無難。^{ぶなん}＝特にいいというわけではないが悪くもなく、問題が起きないこと。/不算